

いばらきネットモニター 後発医薬品(ジェネリック医薬品)に関するアンケート結果

1 調査目的

このアンケートは、県民の皆様が抱えている後発医薬品（ジェネリック医薬品）の印象等についての意識調査を行い、後発医薬品の使用促進にあたっての課題を把握するために実施しました。

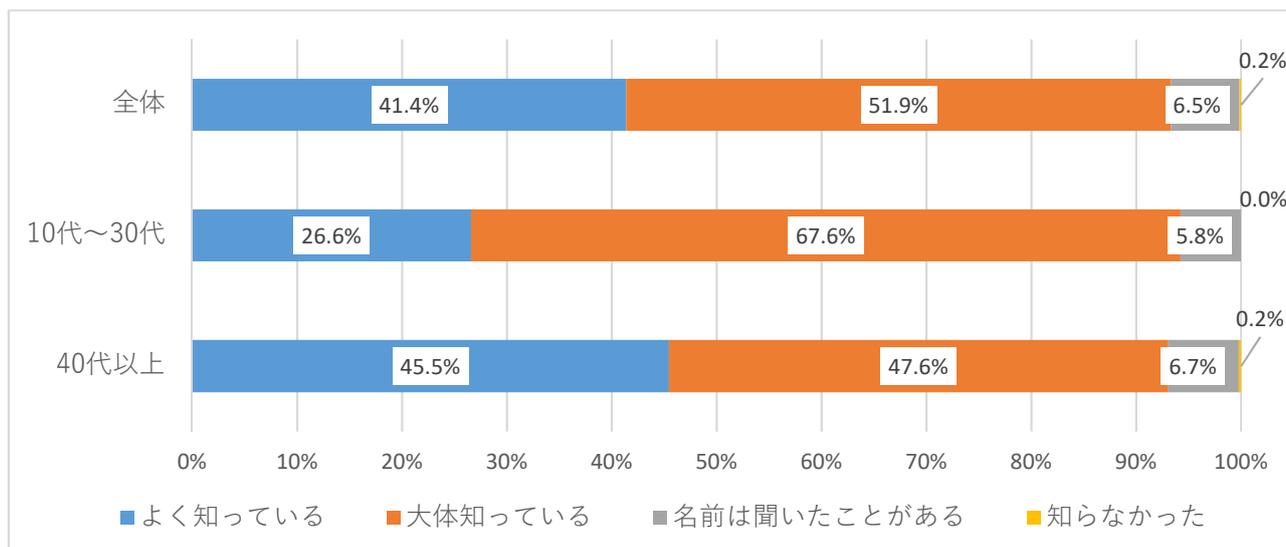
2 結果の概要

- ・後発医薬品を認知している割合、また使用したことがある割合はどちらも9割を上回った。
- ・後発医薬品を希望しない（先発医薬品を希望する）割合は13.8%であり、希望しない理由は、後発医薬品の品質への不安が大部分を占めた。
- ・後発医薬品を希望する理由の大部分が、薬代が安くなるためであった。
- ・「10代~30代」のうち約半数は、当県で行っている啓発活動を知らなかった。
- ・「10代~30代」は、「40代以上」よりもインターネット等を活用した啓発が効果的であると考えているのに対し、「40代以上」では「新聞広告」が最も効果的であると考えており、世代によって効果的な啓発活動に差がみられた。

【問1】（後発医薬品の認知）

あなたは、後発医薬品（ジェネリック医薬品）（※）のことを知っていますか。次の中からあてはまるものを1つ選んでください。

(n=645)



	回答数			比率 (%)		
	全体	10～30代	40代以上	全体	10～30代	40代以上
よく知っている	267	37	230	41.4	26.6	45.5
大体知っている	335	94	241	51.9	67.6	47.6
名前は聞いたことがある	42	8	34	6.5	5.8	6.7
知らなかった	1	0	1	0.2	0.0	0.2
全 体	645	139	506	100.0	100.0	100.0

○ 全体として「大体知っている」が51.9%で最も多く、次に「よく知っている」が41.4%、「名前は聞いたことがある」が6.5%となっており、これらを合わせた合計は99.8%であった。一方、「知らなかった」は0.2%であり、昨年度と比較して0.1%減少した。

また、年代別における状況については、「40代以上」の方が「10代～30代」より「よく知っている」の割合が約20%高い傾向が見られた。

※後発医薬品（ジェネリック医薬品）とは

新薬（いわゆる先発医薬品）の特許が切れた後に、同じ有効成分を使用して製造した薬のことで、国が効果や安全性を審査し承認したものです。先発医薬品に比べて薬代が安くなるほか、味や大きさなど、服用しやすいように工夫された製品もあります。

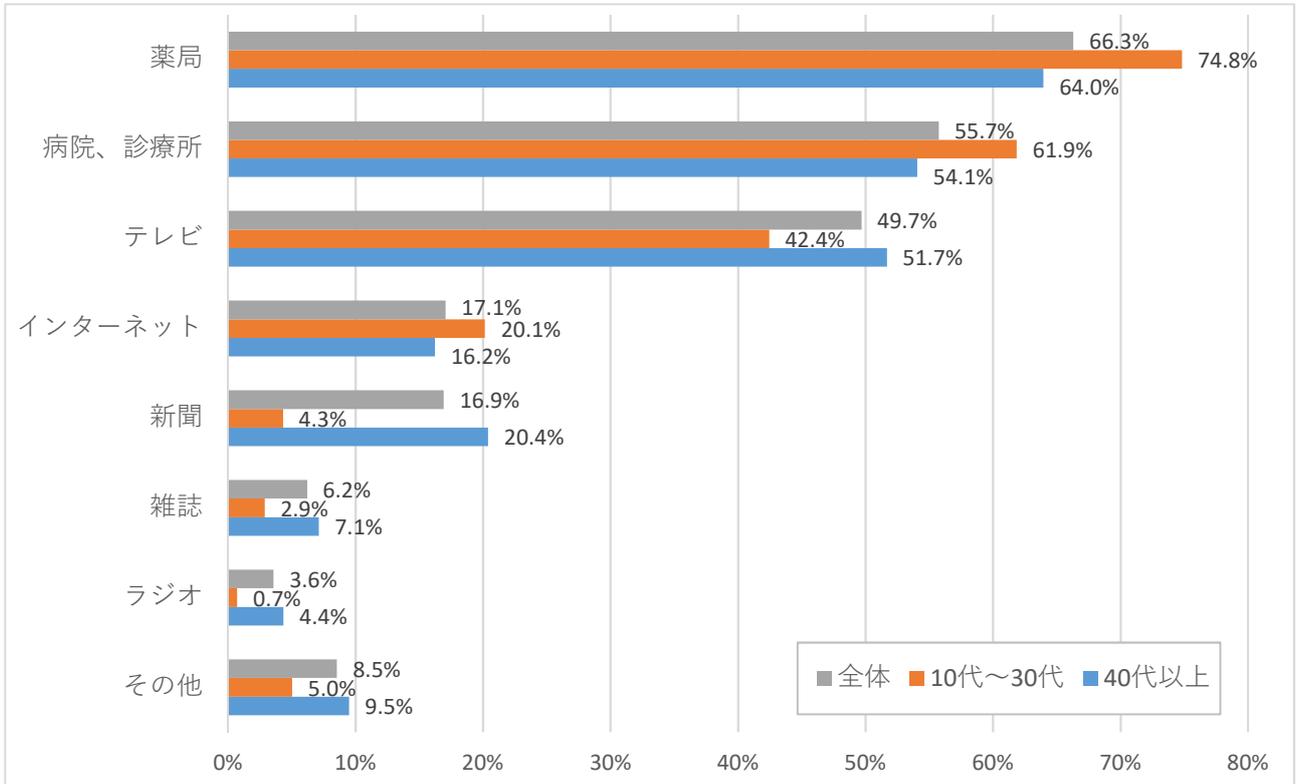
詳しくは、こちらをご覧ください（茨城県HP）。

<https://www.pref.ibaraki.jp/hokenfukushi/yakumu/yakuji/generic.html>

【問2】（後発医薬品の認知のきっかけ）

（問1で「1.よく知っている」、「2.大体知っている」、「3.名前は聞いたことがある」と回答した方にお伺いします）

あなたが、後発医薬品（ジェネリック医薬品）を知った又は聞いたきっかけは何ですか。次の中からあてはまるものを最大3つまで選んでください。（n=644）



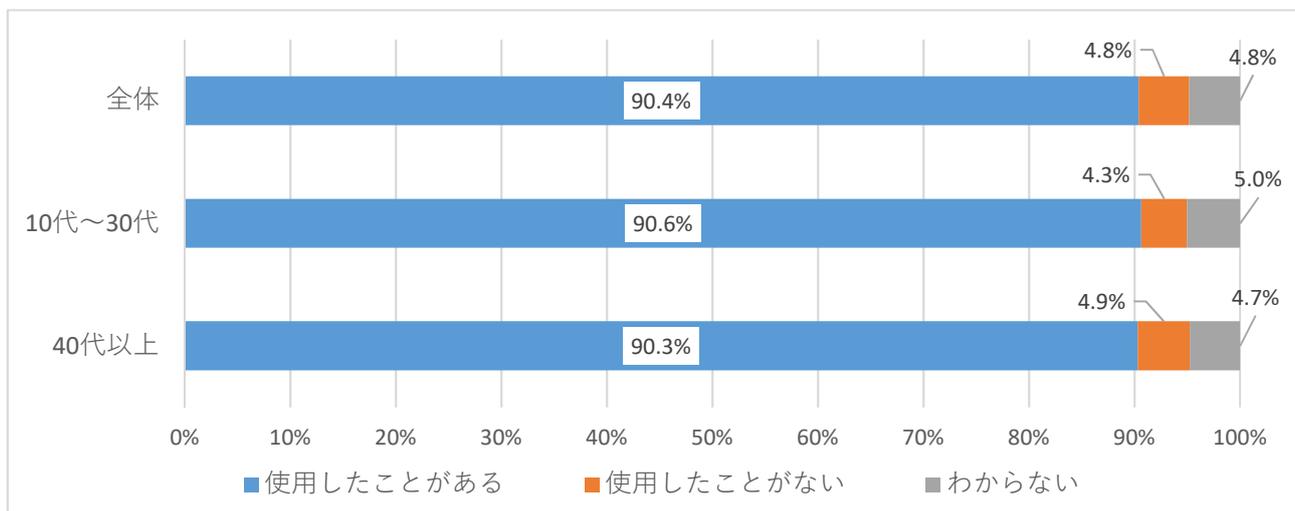
	回答数			比率 (%)		
	全体	10～30代	40代以上	全体	10～30代	40代以上
薬局	427	104	323	66.3	74.8	64.0
病院、診療所	359	86	273	55.7	61.9	54.1
テレビ	320	59	261	49.7	42.4	51.7
インターネット	110	28	82	17.1	20.1	16.2
新聞	109	6	103	16.9	4.3	20.4
雑誌	40	4	36	6.2	2.9	7.1
ラジオ	23	1	22	3.6	0.7	4.4
その他	55	7	48	8.5	5.0	9.5
全 体	1,443	295	1,148	-	-	-

- 全体として、「薬局」が66.3%で最も多く、「病院・診療所」が55.7%、「テレビ」が49.7%と高い割合を示した。以降、「インターネット」17.1%、「新聞」16.9%、「雑誌」6.2%、「ラジオ」3.6%の順となった。昨年度と比較して大きな変化はなかった。
- 年代別の比較として、「新聞」が10代～30代で4.3%と、40代以上に比べて約16%低かった。
- 「その他」(8.5%)として、次のような意見が挙げられた(計55件)。
 - ・ 保険者(健康保険組合等)の案内チラシで知った
 - ・ 仕事上知っている
 - ・ 知人から

【問3】(後発医薬品の使用経験)

あなたは、今までに後発医薬品(ジェネリック医薬品)を使用したことがありますか。次の中からあてはまるものを1つ選んでください。

(n=645)



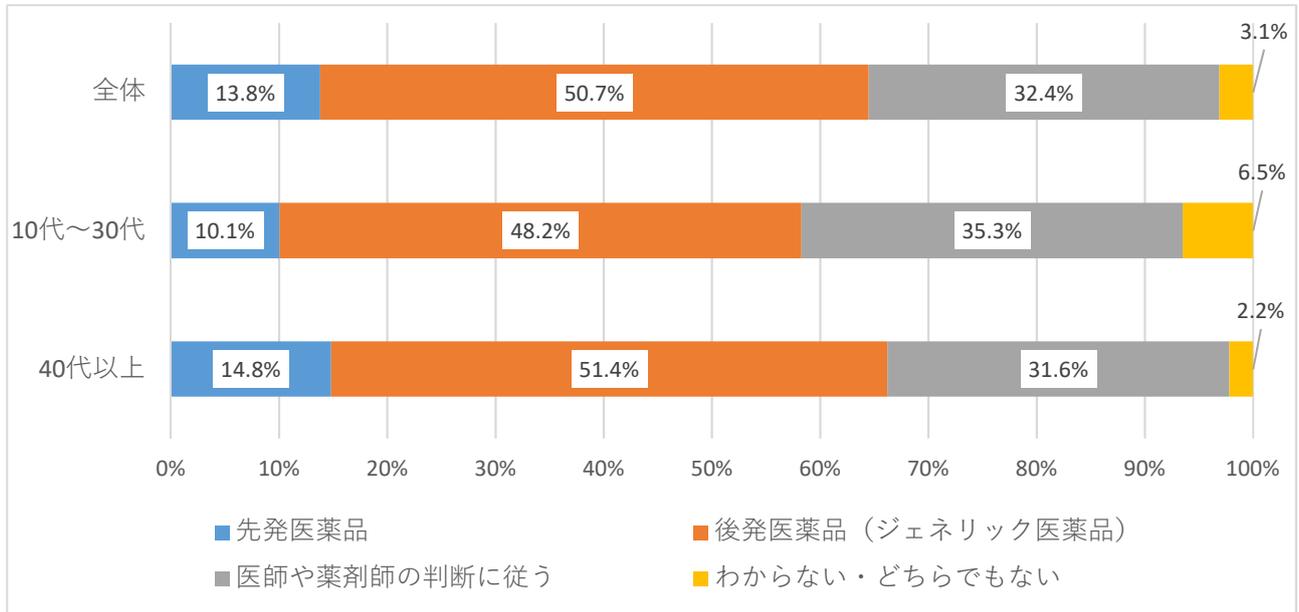
	回答数			比率 (%)		
	全体	10～30代	40代以上	全体	10～30代	40代以上
使用したことがある	583	126	457	90.4	90.6	90.3
使用したことがない	31	6	25	4.8	4.3	4.9
わからない	31	7	24	4.8	5.0	4.7
全 体	645	139	506	100.0	100.0	100.0

- 全体として、「使用したことがある」が90.4%で最も多かった一方で、「使用したことがない」、「わからない」がともに4.8%であった。「使用したことがある」は昨年も90.4%であり、変化はなかった。
- 年代別の比較についても、10代～30代と40代以上でほとんど差は見られなかった。

【問4】（先発医薬品・後発医薬品の希望の別）

あなたは、先発医薬品と後発医薬品（ジェネリック医薬品）のどちらを希望しますか。次の中からあてはまるものを1つ選んでください。

(n=645)



	回答数			比率 (%)		
	全体	10～30代	40代以上	全体	10～30代	40代以上
先発医薬品	89	14	75	13.8	10.1	14.8
後発医薬品（ジェネリック医薬品）	327	67	260	50.7	48.2	51.4
医師や薬剤師の判断に従う	209	49	160	32.4	35.3	31.6
わからない・どちらでもない	20	9	11	3.1	6.5	2.2
全 体	645	139	506	100.0	100.0	100.0

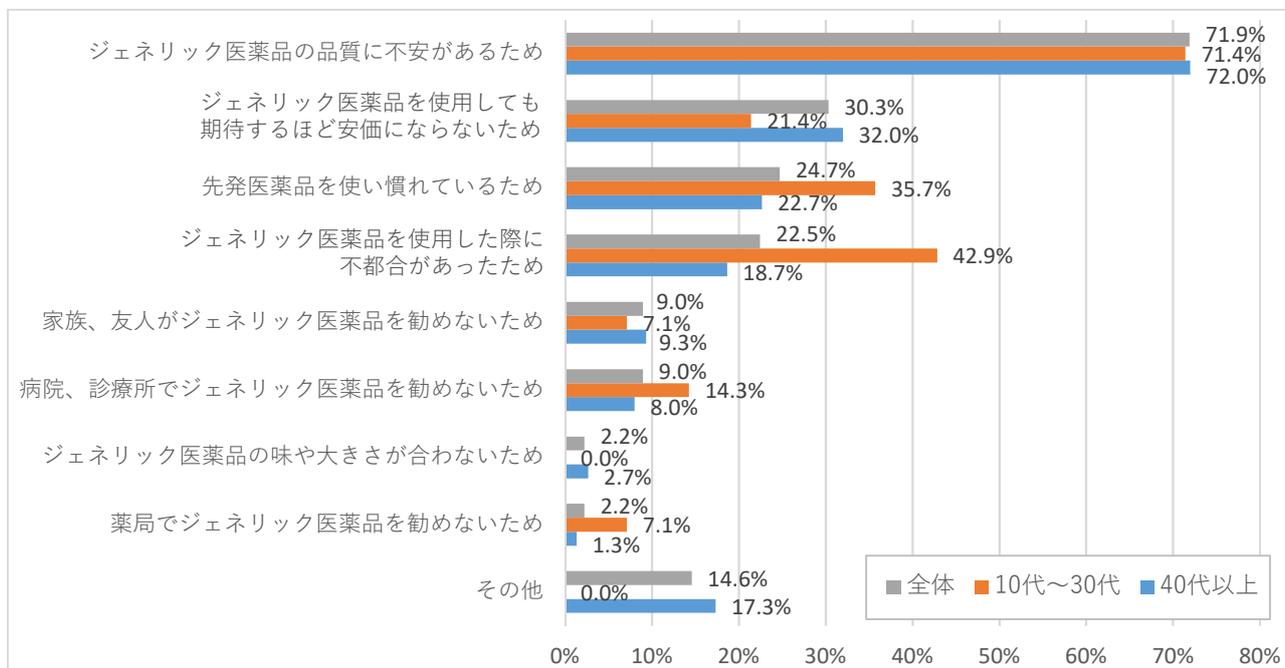
- 全体として、「後発医薬品（ジェネリック医薬品）」が50.7%と最も多く、次に「医師や薬剤師の判断に従う」が32.4%と多かった。「先発医薬品」を希望した割合については13.8%、「わからない・どちらでもない」との回答は3.1%であった。昨年度と比較して大きな変化はなかった。
- 年代別における状況においては、「10代～30代」と「40代以上」で大きな差はなかったが、「10代～30代」は、「わからない・どちらでもない」の割合が「40代以上」に比べて4.3%高かった。

【問5】（先発医薬品の希望理由）

（問4で「1.先発医薬品」と答えた方にお伺いします）

あなたが、先発医薬品を希望する理由は何ですか。次の中からあてはまるものを最大3つまで選んでください。

(n = 89)



	回答数			比率 (%)		
	全体	10~30代	40代以上	全体	10~30代	40代以上
ジェネリック医薬品の品質に不安があるため	64	10	54	71.9	71.4	72.0
ジェネリック医薬品を使用しても期待するほど安価にならないため	27	3	24	30.3	21.4	32.0
先発医薬品を使い慣れているため	22	5	17	24.7	35.7	22.7
ジェネリック医薬品を使用した際に不都合があったため	20	6	14	22.5	42.9	18.7
家族、友人がジェネリック医薬品を勧めないため	8	1	7	9.0	7.1	9.3
病院、診療所でジェネリック医薬品を勧めないため	8	2	6	9.0	14.3	8.0
薬局でジェネリック医薬品を勧めないため	2	1	1	2.2	7.1	1.3
ジェネリック医薬品の味や大きさが合わないため	2	0	2	2.2	0.0	2.7
その他	13	0	13	14.6	0.0	17.3
全体	166	28	138	-	-	-

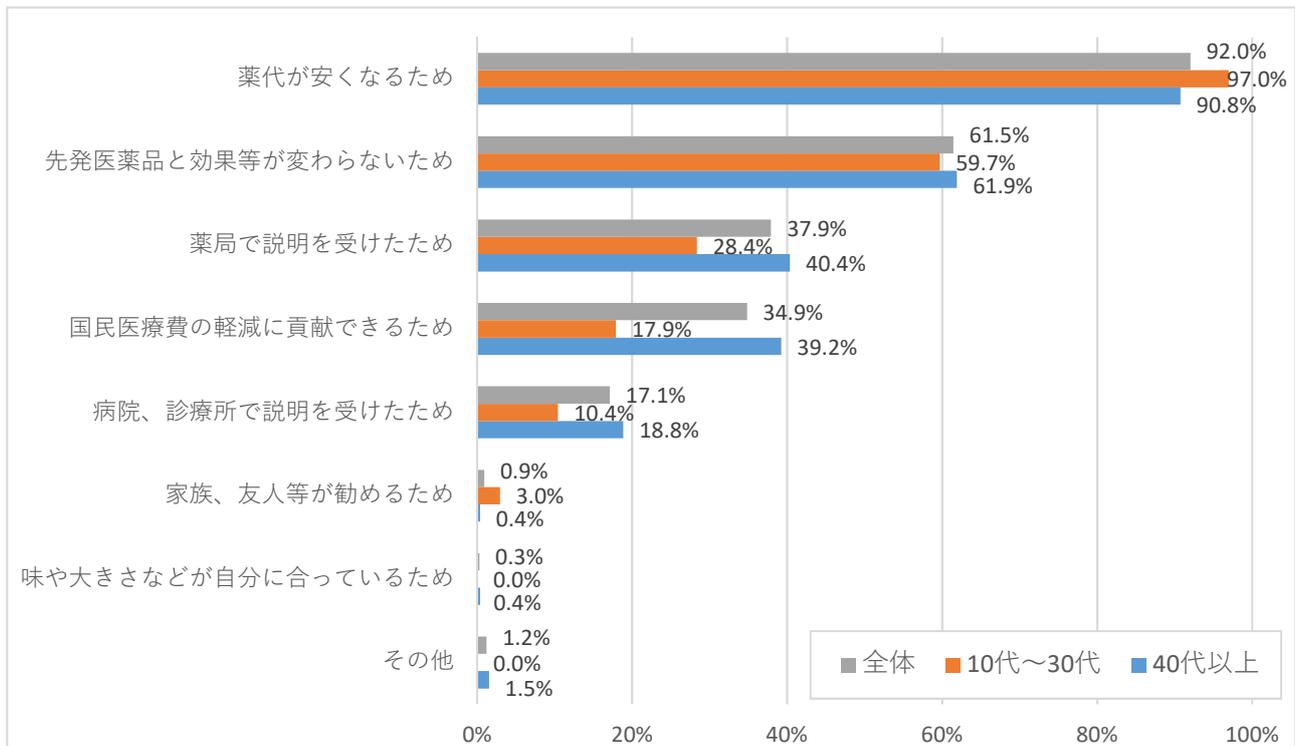
- 全体として、「ジェネリック医薬品の品質に不安があるため」が71.9%と最も多く、「後発医薬品を使用しても期待するほど安価にならないため」が30.3%と次に多かった。以降、「先発医薬品を使い慣れているため」が24.7%、「ジェネリック医薬品を使用した際に不都合があったため」が22.5%、「病院、診療所でジェネリック医薬品を勧めないため」及び「家族、友人がジェネリック医薬品を勧めないため」の2項目が9.0%、「薬局でジェネリック医薬品を勧めないため」及び「ジェネリック医薬品の味や大きさが合わないため」の2項目が2.2%と続いた。
- 昨年に比べ、「ジェネリック医薬品の品質に不安があるため」が3.4%減少したものの、令和2年に複数の国内後発医薬品メーカーによる不正が発覚した以降、品質への不安は依然として高い割合を示している。
- 年代別では、「10代～30代」が「40代以上」に比べて、「先発医薬品を使い慣れているため」が13.0%、「ジェネリック医薬品を使用した際に不都合があったため」が24.1%高かった。
- 「その他」として、次のような意見が挙げられた（計13件）。
 - ・先発医薬品の方が名前に馴染みがある
 - ・皮膚科を受診した時は先発を勧められた
 - ・信頼がおけない

【問6】（後発医薬品（ジェネリック医薬品）の希望理由）

（問4で「2.後発医薬品（ジェネリック医薬品）」と答えた方にお伺いします）

あなたが、後発医薬品（ジェネリック医薬品）を希望する理由は何ですか。次の中からあてはまるものを最大3つまで選んでください。

(n = 327)



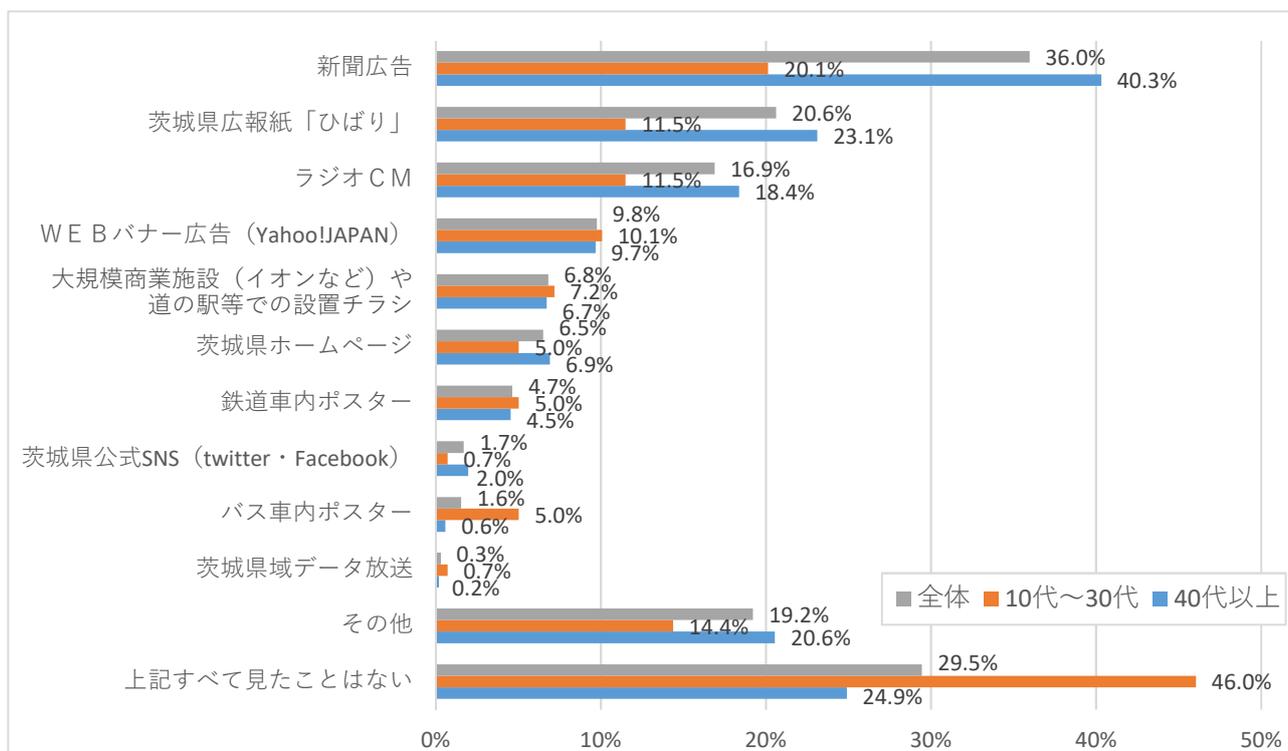
	回答数			比率 (%)		
	全体	10～30代	40代以上	全体		
				10～30代	40代以上	
薬代が安くなるため	301	65	236	92.0	97.0	90.8
先発医薬品と効果等が変わらないため	201	40	161	61.5	59.7	61.9
薬局で説明を受けたため	124	19	105	37.9	28.4	40.4
国民医療費の軽減に貢献できるため	114	12	102	34.9	17.9	39.2
病院、診療所で説明を受けたため	56	7	49	17.1	10.4	18.8
家族、友人等が勧めるため	3	2	1	0.9	3.0	0.4
味や大きさなどが自分に合っているため	1	0	1	0.3	0.0	0.4
その他	4	0	4	1.2	0.0	1.5
全 体	804	145	659	-	-	-

- 全体として、「薬代が安くなるため」が 92.0%と最も多く、「先発医薬品と効果等が変わらないため」が 61.5%と次に多かった。以降、「薬局で説明を受けたため」が 37.9%、「国民医療費の軽減に貢献できるため」が 34.9%、「病院、診療所で説明を受けたため」が 17.1%、「家族、友人等が勧めるため」が 0.9%、「味や大きさなどが自分に合っているため」が 0.3%となった。昨年度と比較して大きな変化はなかった。
- 年代別では、「10代～30代」が「40代以上」に比べて、「薬局で説明を受けたため」が 12.0%、「国民医療費の軽減に貢献できるため」が 21.3%低かった。「10代～30代」は、「40代以上」に比べ、後発医薬品の使用が国民医療費の削減に貢献していると感じている方の割合が少ないと考えられた。
- 「その他」として、次のような意見が挙げられた（計4件）。
 - ・継続して飲まなければならない薬があるため
 - ・医学・薬学の専門家である「病院の医師や薬剤師」の指示に従う

【問7】（後発医薬品（ジェネリック医薬品）の広報）

次の後発医薬品（ジェネリック医薬品）の広報のうち、あなたが見たことがあるものは何ですか。次の中からあてはまるもの次の中からあてはまるものを全て選んでください。

(n=645)



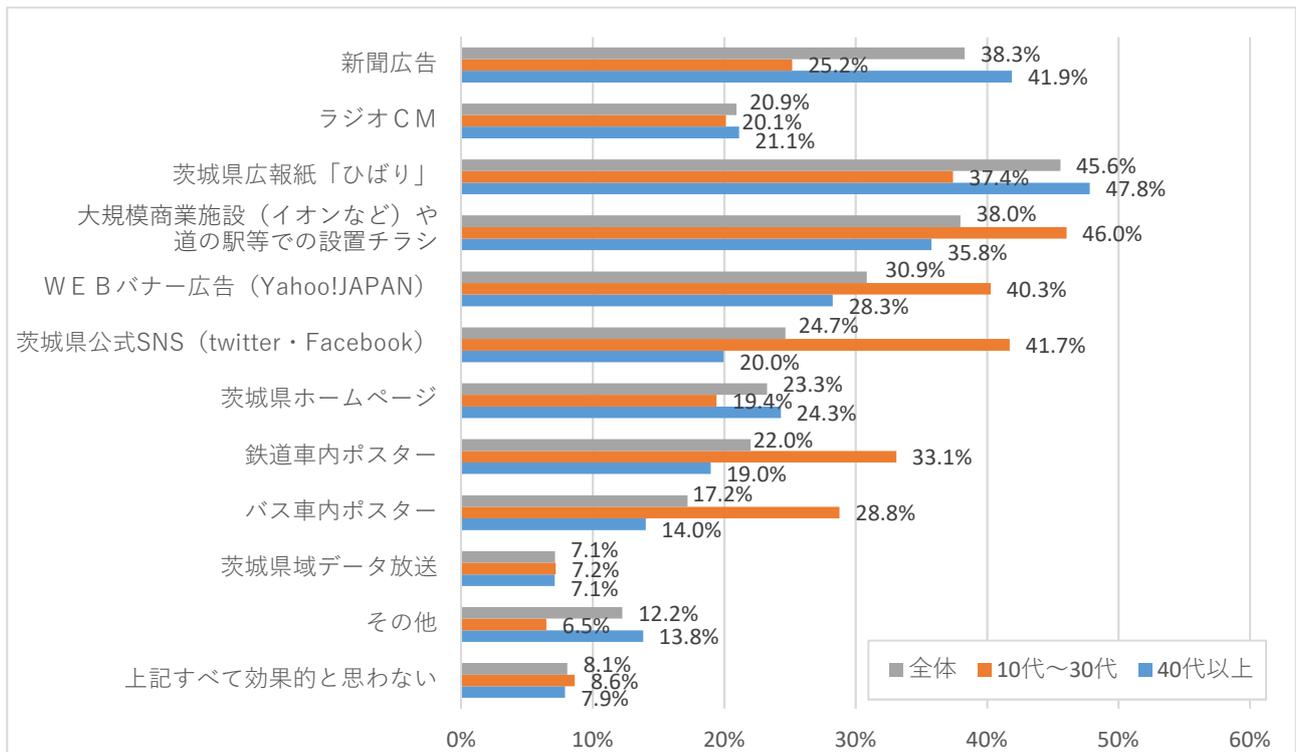
	回答数			比率 (%)		
	全体	10～30代	40代以上	全体	10～30代	40代以上
新聞広告	232	28	204	36.0	20.1	40.3
茨城県広報紙「ひばり」	133	16	117	20.6	11.5	23.1
ラジオCM	109	16	93	16.9	11.5	18.4
WEBバナー広告 (Yahoo!JAPAN)	63	14	49	9.8	10.1	9.7
大規模商業施設 (イオン等) や道の駅等での設置チラシ	44	10	34	6.8	7.2	6.7
茨城県ホームページ	42	7	35	6.5	5.0	6.9
鉄道車内ポスター	30	7	23	4.7	5.0	4.5
茨城県公式 SNS (twitter・Facebook)	11	1	10	1.7	0.7	2.0
バス車内ポスター	10	7	3	1.6	5.0	0.6
茨城県域データ放送	2	1	1	0.3	0.7	0.2
その他	124	20	104	19.2	14.4	20.6
上記すべて見たことはない	190	64	126	29.5	46.0	24.9
全体	990	191	799	-	-	-

- 「新聞広告」が36.0%で最も多く、「すべて見たことはない」が29.5%で次に多かった。以降、「茨城県広報紙「ひばり」」20.6%、「ラジオCM」16.9%、「WEBバナー広告（Yahoo!JAPAN）」9.8%、「大規模商業施設（イオンなど）や道の駅等での設置チラシ」6.8%、「茨城県ホームページ」6.5%、「鉄道車内ポスター」4.7%、「茨城県公式SNS（twitter・Facebook）」1.7%、「バス車内ポスター」1.6%、「茨城県域データ放送」0.3%の順となった。
- 昨年度と比較して、大きな変化はなかったが、「すべて見たことはない」の割合が1.8%増加した。
- 年代別では、「10代～30代」が「40代以上」に比べて、「新聞広告」が20.2%、「茨城県広報紙「ひばり」」が11.6%、「ラジオCM」が6.9%低く、「すべて見たことはない」の割合が21.1%高かった。アンケートに回答した「10代～30代」のうち、およそ半数の方が、茨城県で行っている啓発活動を認知していないことが分かった。
- 「その他」として、次のような意見が挙げられた（124件）。
 - ・薬局内、病院内ポスター
 - ・テレビCM
 - ・市の広報誌

【問8】（後発医薬品（ジェネリック医薬品）の広報2）

現在、茨城県で実施している次の広報手法のうち、あなたが、効果的だと思うものは何ですか。次の中から、あてはまるものを全て選んでください。

(n=645)



	回答数			比率 (%)		
	全体	10～30代	40代以上	全体	10～30代	40代以上
茨城県広報紙「ひばり」	294	52	242	45.6	37.4	47.8
新聞広告	247	35	212	38.3	25.2	41.9
大規模商業施設（イオン等） や道の駅等での設置チラシ	245	64	181	38.0	46.0	35.8
WEB バナー広告 （Yahoo!JAPAN）	199	56	143	30.9	40.3	28.3
茨城県公式 SNS （twitter・Facebook）	159	58	101	24.7	41.7	20.0
茨城県ホームページ	150	27	123	23.3	19.4	24.3
鉄道車内ポスター	142	46	96	22.0	33.1	19.0
ラジオCM	135	28	107	20.9	20.1	21.1
バス車内ポスター	111	40	71	17.2	28.8	14.0
茨城県域データ放送	46	10	36	7.1	7.2	7.1
その他	79	9	70	12.2	6.5	13.8
上記すべて効果的と思わない	52	12	40	8.1	8.6	7.9
全 体	1,859	437	1,422	-	-	-

- 全体として、「茨城県広報紙「ひばり」」が45.6%と最も多く、次に「新聞広告」が38.3%と多かった。以降、「大規模商業施設（イオンなど）や道の駅等での設置チラシ」38.0%、「WEB バナー広告（Yahoo!JAPAN）」30.9%、「茨城県公式 SNS（twitter・Facebook）」24.7%、「茨城県ホームページ」23.3%、「鉄道車内ポスター」22.0%、「ラジオCM」20.9%、「バス車内ポスター」が17.2%、「茨城県域データ放送」7.1%であった。また、「効果的だと感じたものはない」が8.1%であり、昨年度と比較して大きな変化はなかった。
- 年代別では、「10代～30代」が「40代以上」に比べて、「新聞広告」が16.7%低く、「WEB バナー広告（Yahoo!JAPAN）」が12.0%、「茨城県公式 SNS（twitter・Facebook）」が21.7%高かった。「10代～30代」が、よりインターネット等を活用した啓発が有効と感じていることが分かった。
- 「その他」として、次のような意見が挙げられた（79件）。
 - ・薬局内、病院内ポスター
 - ・テレビCM
 - ・Youtubeでの広告

【問9】（自由意見）

その他、「後発医薬品（ジェネリック医薬品）」について、自由にご意見をお聞かせください（200文字以内）。

○ 次のような意見があげられた（278件）。

<品質への不安>

- ・ 後発医薬品メーカーの品質管理をしっかりとやってくれることが大切。
- ・ 安全性をきちんと説明してほしい。
- ・ 製薬会社への不定期な監査をおこなってほしい。
- ・ 本当にマイナスの部分はないのか。
- ・ その安全性が確保されていることが必要。コスト面のみならず、効果でも変わらないことをアピールしていかなければならない。

<積極的な活用>

- ・ もっと積極的にアピールしてほしい。
- ・ ジェネリックの方が、飲みやすい錠剤の形状だったりするので、医療費の軽減だけでなく利用したい。
- ・ 医師への徹底した理解促進とPRが必要。
- ・ すでに充分活用されていると思う。

<お薬代や医療費について>

- ・ 医療費削減と利用者負担軽減の為、普及啓蒙して進めて行くべき。
- ・ 薬としての効果が先発品と同じで、価格が抑えられるところが良い。
- ・ 価格が安くて利用しやすいので、これからも使用したい。
- ・ 価格が安い事位しか広報されておらず、その他の情報がクローズアップされないのは問題がある。

3 調査の概要

(1) 調査形態

調査時期：令和4年12月12日（月）～12月25日（日）

調査方法：インターネット（アンケート専用フォームへの入力）による回答

モニター数：943名（県内在住者のみ）

回収率：68.4%（645名）

回答者の属性：以下の通り。ただし、百分率表示は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、個々の比率の合計は100%にならない場合がある。

		人数（人）	比率（%）
全体（n）		645	100.0
地域別	県北	63	9.8
	県央	239	37.1
	鹿行	34	5.3
	県南	251	38.9
	県西	58	9.0
性別	男性	283	43.9
	女性	362	56.1
年齢別	16～19歳	3	0.5
	20～29歳	33	5.1
	30～39歳	103	16.0
	40～49歳	163	25.3
	50～59歳	176	27.3
	60～69歳	101	15.7
	70歳以上	66	10.2
職業別	自営業	48	7.4
	会社員	237	36.7
	団体職員	27	4.2
	公務員	25	3.9
	主婦・主夫	150	23.3
	学生	13	2.0
	無職	76	11.8
	その他	69	10.7

(2) 担当課

茨城県保健医療部医療局薬務課（薬事グループ）

電話：029-301-3393 E-mail：yakumu2@pref.ibaraki.lg.jp